

子どもたちへ、伝えたい 感じる心、感動する心を

地元清瀬に、新体操クラブを構え40年。指導者として活躍し続ける藤島さんにお話を伺いました。

新体操クラブ誕生のきっかけ

清瀬市の社会教育課から美容体操・母子の体操教室の依頼を受けたのが、昭和50年。ちよど出産・子育ては自分の手でと大学退職直後のことでした。今まで自分がやってきたことは全く違う対象者であることに少々戸惑いながらも決断。新しい一歩に心が躍りました。参加者から「こんなに楽しい体操だったら…」という反響をいただき、女性の健康体操に、子どもたちにと「ふじしま新体操クラブ」が誕生しました。

指導者として心がけていること

継続されている原動力

子どもたち一人ひとりの心にあるその子らしさを探しながら「大好き・仲間との触れ合い・あきらめない」などを基本に、元氣パワーが飛び交う場でありたいと、笑顔を振りまいての毎日です。イメージが広がる「言葉かけ」を大切に日々小さな成長を願い、楽しく、個性豊かになってくれたらとの思いで今日までできました。その時々合う言葉を選び起こしながら語りかけ、私自身もワクワクして、あつという間の半世紀でした。このクラブから、川本ゆかり（バルセロナ）、山尾朱子（アトランタ）、サイド横田仁奈（ロンドン）



ロンドンオリンピック出場 サイド横田仁奈さんと



ふじしま新体操クラブ 代表 藤島八重子さん

新体操（スポーツ）を通して、子どもたちに伝えたい思い

芸術体操だからこそ、美しく豊かな表現を通して、感じる心、感動する心を育ててほしい。ふじしま新体操クラブは、子どもたちにとつて、人生の通過点。ここで過ごした日々が、いつか子どもたちの生きる力になってもえたらと思っています。

インタビュを終えて

子どもの頃、清瀬の川で遊び、野原を駆け回ったそのままに自然体の藤島さん。新体操を通して、人間として大切な「心の教育」をされています。真剣に子どもたちへ向き合っている姿勢に、同じ大人として学ばべきことばかりでした。（取材 川村）

はじめの一歩

詩・イラスト 藤島八重子

輝きの芽を忍ばせて
天使のように
優しく微笑み
無邪気なしぐさで
踊ります
力を投げ出し
心を開いた子どもたち
いつの日か
色とりどりの花となって
それぞれのそれぞれの
舞台に立つ

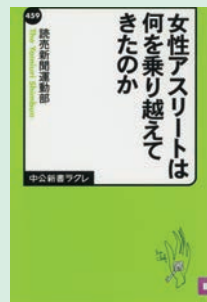


本の紹介

女性アスリートは何を乗り越えてきたのか

読売新聞運動部／中公新書

世界の舞台で活躍する女性アスリートたちが語っています。競技者として、女性として、さまざまな壁にどう向き合い対処してきたのか…。あらためて女性の持つ力に、元氣と勇気をもらえる一冊です。（川村）



今を受け入れ、今を超える。

車いすマラソン世界記録保持者の「前に進む言葉」



土田和歌子 / 徳間書店

風のように舞う

新体操の美に魅せられて

藤島 八重子 / はるか書房



教育社会とジェンダー

河野銀子・藤田由美子 編著 / 学文社

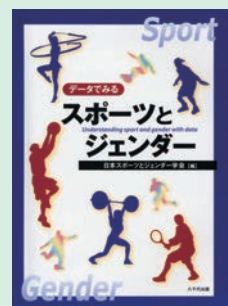


主に教員を目指す学生向けの書籍ですが、子育て中の人にもおすすめです。絵本や学校教材、さらには進路選択においてもジェンダー（社会的につくられた性差）の問題があり、子育てをその視点から考えるきっかけになる本です。（佐野）

データでみるスポーツとジェンダー

日本スポーツとジェンダー学会編 / 八千代出版

女性とスポーツにまつわるさまざまなデータがたくさん掲載されています。データごとに解説がついているのでわかりやすく、いつもとは違う視点でスポーツをみることができます。（佐野）



上記の本はアイレックで借りることができます